

研修報告書

令和 3 年 3 月 3 1 日

小牧市議会議長 様

会 派 名	無会派	大上	利幸
代表者氏名	大上	利幸	

研修の結果を報告します。

記

1. 参加議員

大上利幸

2. 日程・会場

過去に開催された研修を動画データにて受講

3. 研修名

with コロナ時代の今しかできない質問のポイント

- ・ 質問作成実例研修
- ・ 質問作成応用研修
- ・ 急激悪化！地方の財政～持続可能な財政政策
- ・ 地方に人を呼び込め！
～定住人口（人口増加策）と流動人口（観光政策）

4. 主催者

地方議員研究会

5. 講師

村山祥栄氏 大正大学地域構想研究所客員教授

略歴

大正大学地域構想研究所客室教授（平成 2 8 年 6 月～）

京都産業大学法学部講師（平成 2 0 年 1 0 月～ 2 3 年 3 月）

地域政党京都党結党 代表 9 年間

前京都市議会議員 5 期 17 年

(5 期 17 年 2 期以降はトップ当選、3 期は市政史上最多得票)

著書共著

『京都同和「裏」行政』『地域政党』『地方を食いつぶす「税金フリーライダー」の正体』『京都が観光で滅びる日』

6. 研修の目的

質問力のレベルアップと持続可能な財政政策調査のため

7. 主な内容

『質問作成実例研修』

- ・絶対的政務調査力～こうすれば質問の質が劇的に上がる
- ・市民ニーズの把握と、行政から一目置かれるような活動とは
- ・絶対的質問力～行政マンが唸る質問の要件
 - 1) フィールドを選ぼう
 - 2) 質問準備・データの集め方
 - 3) 型を決める
 - 4) 質問作成の 7 つの極意
- ・質問のケーススタディ
 - 1) 児童公園のトイレ問題
 - 2) 市民住宅の調査

『質問作成応用研修』

- ・一目おかれる質疑のポイント
- ・すごいと思われる切り返しのポイント
- ・必殺キーワードを駆使せよ
- ・質問後に政策実現するためにすべきこと
- ・ムードに流されない時事、政策の本質を見抜くチカラ
- ・質問後の広報の効果的な事例

『急激悪化！地方の財政～持続可能な財政政策』

- ・財政調整基金の枯渇問題を考える
- ・更なる財政悪化の懸念
- ・自治体財政圧迫の主要因
- ・行政改革・予算編成の見直し
- ・歳出見直し～実際の質疑例を踏まえて

- ・歳入確保策
- ・S I B（ソーシャルインパクト）活用例
- ・公園施設のP P P事例紹介

『地方に人を呼び込め！

～定住人口（人口増加策）と流入人口（観光政策）』

- ・観光政策の現状
- ・ブランディング戦略
- ・観光政策。観光公害の考え方～京都市の事例から
- ・M I C E 戦略
- ・宿泊税の導入について
- ・人口を呼び込むために議会からできること
- ・人口問題の取り上げ方
- ・with コロナの自治体課題
- ・地方移住最大のチャンス到来

9. 感想と取組

『質問作成実例研修』では、前半に質問作成に関するレベルアップの方法を学び、後半に市民相談から「市営住宅」と「公園のトイレ」の具体的な仕事のフローを学びました。

『質問作成応用研修』では、応用編に相応しく様々なテクニックを学び、具体的に「地下鉄終電延長提案」「児童養護施設・児童虐待事件」「住宅火災報知器設置調の調査」「バスの走行環境の調査」「清掃局との暗闘」での極意と仕事のフローを学びました。

質問作成の取組としては、「市営住宅」に関しては小牧市でも当てはまる課題があるか調査します。「公園のトイレ」に関しては議員活動の中で市民の声で課題であると感じているため、研修内容を活用して提案改善したいと思います。

質問作成研修の最後に講師が実践されている「議員たるもの、語り草になる伝説を作るべし」「質問は議員の晴れ舞台」「質問を通じて議員のブランディングを」「広報を通じて選ばれるブランディングを」等は非常にモチベーションがあがるメッセージでした。

『急激悪化！地方の財政～持続可能な財政政策』では、コロナ禍における自治体の財政の現状を学び、行政改革の歳出削減の具体例とし

て、事業見直しでは「救急車の適切な稼働」、無駄遣いチェックでは「水素自動車事業」「デートDV防止」、歳出見直しでは「生活保護対策」、RPA・PFIの導入やPFSの活用、人事制度改革（給与表の見直し）を学び、歳入増加としてふるさと納税やその他の歳入を増やす取組を学びました。

『地方に人を呼び込め！～定住人口（人口増加策）と流入人口（観光政策）』では、定住人口増加戦略として、一番目に大学を基軸とした企業誘致で「シアトル型企業誘致（最先端研究）」と「日本電産型企業誘致（職業訓練校）」での具体例を学び、二番目に都市特性を生かした人口誘致戦略で「明石市子育て世帯誘致戦略」「流山市シティプロモーション戦略」を学びました。

流入人口増加戦略として、「ドバイの世界NO1戦略」「京都の観光戦略」「MICE戦略」を学びました。

取組としては、「明石市子育て世帯誘致戦略」は出生率1.7、人口8年連続の増加、6年連続税収増加、市民満足度で「明石が好き」「住みやすい」が9割超等の実績があり成功例と言えます。この戦略と具体的な取組内容は、小牧市に生かせるものが多いため提案したいと思います。